府立大手前高等学校
校　長　村田　純子

令和５年度　学校経営計画及び学校評価

１　めざす学校像

大阪城に臨む学び舎で、「強き信念（まこと）・高き理想（のぞみ）」の理念のもと、人格の完成をめざし、民主的な社会の形成者として、個人の価値を尊び責任を自覚し、次代の日本をリードする人物を育成する高等学校

1. 基礎学力を充実させ、自己教育力を高め、高邁な志で自己実現の達成を図る学校

2. 知・徳・体の調和のとれた教育によって、仲間とともに活動する喜びを知り、真摯な取り組みを称え合う経験の積み重ねから、豊かな人間性を涵養する学校

3. 日々の教育活動に加え、充実した海外プログラムなどによって、豊かな国際感覚を身に着けた、国際社会に貢献し得る人間の育成を期す学校

２　中期的目標

1. 基礎学力を充実させ、自己教育力を高め、高邁な志で自己実現の達成を図る

（1） 新たな大学入試制度に対応し、学習指導要領を踏まえた教育課程を円滑に実施する。
　ア 主体的・対話的で深い学びの実現をめざす。
　イ 課題研究活動の内容を深化させ、探究的な学びの充実をはかる。

（2） グローバル・リーダーズ・ハイスクール（GLHS）、スーパーサイエンス・ハイスクール（SSH）第Ⅳ期としての教育内容を充実させる。

（3） 進路指導年間計画を充実させるとともにキャリア教育の充実を図る。
　ア 進路検討会議の継続をはじめとした取組みの充実と一層の進路指導の情報提供に努める。
　イ 生徒の進路実現を支援し、国公立大学 70%（現浪）を実現する。（ R2 63%　R3 63%　R4 58%）

（4） 英語コミュニケーション能力の育成
　ア ４技能（聞く、話す、読む、書く）統合型授業の充実を進め、CEFR に対応した校内スピーキングテストを充実し、実践的英語力の向上を図る。

（5） ICT 化対応の教育の推進と効果的な 65 分授業を実施する。
　ア GIGA スクールの実施、生徒１人１台端末に合わせた、授業、その他の学校教育活動の ICT 化を進める。
　イ 教員研修の充実等により密度の濃い 65 分授業を行う。

2. 知・徳・体の調和のとれた教育によって、仲間とともに活動する喜びを知り、真摯な取り組みを称え合う経験の積み重ねから、豊かな人間性を涵養する

（1） 学習と学校行事・自治会活動・部活動を両立させうる生徒を育成する。
　ア １年次部活動加入率 90%以上を維持する。（R2. 90%　R3. 92%　R4.103%）
　イ 取組み内容の精選を行い、自主的活動全般のレベルを上げ、意欲につながる充実感を持たせる。

（2） あらゆる場で、人を支える意識・人権尊重の意識の向上に努める。

（3） 図書館の活用促進・読書指導の充実を図る。

（4） 通級指導を全校体制で取り組み、学校教育全体のユニバーサルデザイン化を進める。

3. 日々の教育活動に加え、充実した海外プログラムなどによって、豊かな国際感覚を身に着けた、国際社会に貢献し得る人間の育成を期す

（1） ボランティア体験活動や授業や行事などを通じて、社会貢献の意識を高める。

（2） ウィズコロナ・アフターコロナの状況を踏まえながら、海外研修やオンライン・オンサイト研修などにより、国際感覚の向上に努める。

（3） 周辺地域、学校の教育活動に関連した関係諸機関との連携を充実させていく。

４．働き方改革の推進

分掌間の調整を進め、校務処理等の仕組みを見直し、効率化を進め業務負担軽減をはかる。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析［令和　　年　　月実施分］	学校運営協議会からの意見

府立大手前高等学校

３　本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R４年度値]	自己評価
１　基礎学力を充実させ、自己教育力を高め、高邁な志で自己実現の達成を図る学校	**(1) 学力の充実と進路希望の実現** ア　学習指導方法の更なる工夫と改善	ア　授業改善 ①　昨年度よりの SG(small group)システムを引き続き実施。グループ単位で日常的な授業見学や研究授業を実施し、積極的に授業改善に取り組む ②　学習到達度の低い生徒に対する授業の工夫や、補習・講習の充実に努める。 ③　生徒1人1台端末に対応した効果的な指導方法を研究する。 A. 授業改善研修の実施 B. 定時制教員や他校教員との合同研修の実施	・授業アンケート肯定評価の向上(88.5%) ・学校教育自己診断における以下の項目の肯定度の向上 「興味深い授業」[92.9%] 「到達度の低い生徒への指導」[76.5%] 「発表する力」[83.8%] ・授業改善研修実施 ・合同研修の実施3回[3回]	
	イ　全員が課題研究に取り組むための指導体制の確立	イ SSH 第Ⅳ期にふさわしい　課題研究の指導体制の強化 ①　SS コースの研究レベルの向上 ②　LS コースの指導プログラム作り	・自習室開室日における利用者の増加　[30 人／日] ・コンクール受賞数の増加[9件] ・課題研究発表会を総計3回実施 ・学校教育自己診断 「GLHS、SSH の取組み」肯定率の向上 GL[生徒 81.9%、教職員 78.4%] SSH[生徒 81.5%、教職員 92.3%]	
	ウ　明確な進路目標をもたせるための指導と、進路実現を図るための指導の充実	ウ　進路指導 ①　集中セミナー、京大研修・阪大研修の充実 ②　SSH 事業における研修やマスフェスタなどの実施および外部への普及 ③　進路実現に向けた研修や講習の実施	・12 月進路検討会議の実施 ・国公立進学率の向上[現浪計 58%] ・共通テスト後の進路別講習の実施	
	エ　英語4技能の身につけるための取組みの充実	エ　英語4技能の取組み ①　4技能を測る校内テストの充実 ②　外部検定試験受験の促進	・授業内スピーキングテストの継続[3年間で延べ4回] ・外部検定受験者は A2以上を維持	
	オ　ICT 化の活用と65分授業の効果的な実施	オ　アクティブラーニング ①　授業の ICT 化の促進と密度の濃い 65 分授業の実施	・学校教育自己診断の関係項目の向上[生徒 94.3%、教職員 96.1%]	
２．知・徳・体の調和のとれた教育によって、仲間とともに活動する喜びを知り、真摯な取り組みを称え合う経験の積み重ねから、豊かな人間性を涵養する学校	**(2) 豊かな人間性の涵養** ア　学校行事や自治会・部活動の取組み充実	ア　行事と自治会・部活動の充実 ①　コロナ対応でできず経験した生徒がいない行事などを復活・再構築により充実させる ②　歓迎行事を充実等により部活動入部を促進する	・学校教育自己診断の肯定度の向上[HR85.8 %、行事　90.4 %、自治会 91.8%] ・学校生活満足度の向上[93.5%] ・1年時部活動未入部率　10%以下	
	イ　挨拶の励行と自己管理能力の向上	イ　挨拶の励行と自己管理能力の向上 ①　5分前集合の徹底により遅刻欠席を減少させる	・遅刻者数の 10%減少[3081 回]	
	ウ　教育相談と通級指導の連携による生徒支援の充実	ウ　生徒支援の充実 ①　教育相談体制を充実させる ②　通級指導教室での支援を充実させる	・学校教育自己診断の肯定度の向上[95.1%] ・SC による相談活動 20 回[20 回] ・通級指導の校内体制の充実	
	エ　人権尊重の意識の向上	エ　人権 HR などの充実 ①　仲間の思いのわかる集団作りを進める ②　いじめや人間関係ﾄﾗﾌﾞﾙへの組織的対応	・学校教育自己診断の肯定度の向上[人権学習 95.2%　いじめ対応 93.0%]	
	オ　図書館の活用促進	オ　図書館の活用 ①　委員会活動の活性化と利用促進	・委員会活動実績と人数の維持[35 人]	

府立大手前高等学校

３．日々の教育活動に加え、充実した海外プログラムなどによって、豊かな国際感覚を身に着けた、国際社会に貢献し得る人間の育成を期す学校	**(3) 社会貢献活動の推進** ア 社会貢献の意識の高揚 イ 国際感覚の向上 ウ 地域と連携した教育活動の充実	ア 社会貢献活動の充実 ① ボランティア体験活動の実施 イ 国際教育の推進 ① グローバルリーダー研修・語学研修等の海外研修の復活実施 ② 姉妹校や連携校との交流(国際科学会議) ③ 国内留学生との交流などの新企画の実施 ウ 地域との連携 ① 保育所等交流、弁護士会、税務署などの地域を舞台にした教育活動の実施	・地域関連清掃ボランティアにかわる活動を生徒主導で計画し、参加人数の増加 [20 人] ・各研修を実施し、同窓会のご協力により生活困窮生徒が参加できる仕組みを作る。 ・企画の満足度 90%以上[オンサイトでのエンパワメント研修満足度アンケート[100%] ・各取組みの実施 [R４は保育所交流はできず、NPO 法人による親学習を実施]	
４働き方改革の推進	(4)働き方改革の推進 ア 校務処理の効率化	ア 校務処理等の効率化を進める	・時間外勤務の削減前年度比 10%減[前年度比 15%増]	